

令和3年度

「言語聴覚の日」イベント 報告



山梨県

目指せ言語聴覚士！それとも？ ～「高校生の一日リハビリテーション体験」報告～

令和3年11月27日（土）午前10時からZoomを用いたWebにて、

「高校生の一日リハビリテーション体験」が開催され、リハビリテーション医療に関心のある山梨県内の高等学校に在学する学生85名が参加しました。

本事業は介護予防やリハビリテーションの重要性を広く県民に周知し、

県内で働くリハビリテーション専門職を確保することと地域リハビリテーションを推進することを目的に、平成4年度より行われ、これまでに4696名の高校生が参加しています。

令和3年度より山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に事業委託され、一般社団法人山梨県理学療法士会、一般社団法人山梨県作業療法士会、一般社団法人山梨県言語聴覚士会が事業協力を行っています。

例年であれば、医療現場での体験学習を開催しており、高校生たちは実際の医療現場で患者さんやリハビリテーション専門職と触れ合い、自分の将来像を思い描く機会になっていました。

しかし残念ながら感染症予防の観点から今年度はWeb開催となり、①各士会からの専門職についての説明、②フレッシュマン体験発表（甲府城南病院 作業療法士 宮澤真美先生）、③質疑応答という内容でした。

質疑応答では、進学の実現や職業選択のきっかけなどへの質問があり、高校生たちの真剣な様子が伝わってきました。

参加者アンケートでは、やはり現場体験が出来なかったことを残念がる意見は多くありました。

しかし、Web開催でもリハビリ専門職のやりがいや訓練の意義を知ることが出来たなどの好意的な意見も沢山いただきました。

県内に養成校が無く、県民における社会的認知度が高いとは言えない言語聴覚士にとって、高校生たちに仕事の魅力を伝える貴重な機会となりました。

一般社団法人山梨県言語聴覚士会

高橋正和



言語聴覚士の仕事
(Speech language hearing Therapists: ST)

令和3年11月27日
一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

山梨県言語聴覚士会

- 当会は1999年に発足された職能団体です。
- 現在135人の言語聴覚士が医療・介護・福祉・学校教育現場で活躍しています。
- 活動内容は言語聴覚士が自由に意見や情報の交換ができ、ともに研鑽する場としての講演会や研修会、学術大会の開催といった学術活動を中心に、ニュースの発行やホームページの運用、パンフレットの配布などの広報活動、関連団体や障がいがある方々との連携や交流などを行っています。